

満月の夜開くけいはんな哲学カフェ「ゲーテの会」  
「新たな文明」の萌芽、探求を！

## けいはんなmeta鼎談(哲学×科学×技術)

第3回

# 『生命論』

## 宗教哲学 × 生命科学 × 文化人類学

西洋近代合理主義の経済的豊かさの下で、  
私たちは「生と死」をどのように捉えてきたか。  
真に豊かな未来を切り拓くために、  
本来の「生命（いのち）の輝き」に目を向けるべきではないか。

Motif) 「生命(いのち)の輝き」を探る ～新型コロナウイルスから学ぶ～

鼎談者



宗教  
哲学

松山 大耕 先生  
(妙心寺退蔵院 副住職)

欧米的な二元論の価値観に支配され、分断が進む世界。私たち人間ができることは限られる。今一度、私たちは自然や宇宙など、目に見えない偉大な存在や力に対し、謙虚に受け入れ、自らを省みる必要がある。



生命  
科学

平野 俊夫 先生  
(大阪大学 前総長  
大阪国際がん治療財団 理事長)

人類の歴史は多様性ゆえの発展と対立の歴史で、技術革新と経済成長第一主義は人類社会に正と負の結果をもたらした。新型コロナウイルスの人類への本当のメッセージは何かを考えたい。



文化  
人類学

石井 美保 先生  
(京都大学 教授)

人間は、危険であり豊饒な自然とどのように関わり、その力を受けとりつつ、いかに適切な距離を保てばよいのか。文化人類学の視点から、人間と自然の関係の可能性を考えていく。

2024年7月13日(土) 14:00～17:00

鼎談会場 国際高等研究所  
〒619-0225 京都府木津川市木津川台 9-3

定員 会場 40 名、オンライン 100 名  
(先着順・定員になり次第締め切り)

参加費 無料

締切 2024年7月11日(木)

申込 Peatix からの参加申込のみとなります。事前申込の上、ご参加いただきますようお願いいたします。  
申込先：<https://peatix.com/event/4015726>

お問合せ先

申込み、視聴など、Peatixの利用方法に関してご質問などがございましたら、下記のヘルプページをご確認いただくか、お問合せ窓口にご連絡ください。  
Peatixヘルプページ <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/home>  
Peatixお問合せ窓口 <https://help-attendee.peatix.com/ja-JP/support/tickets/new>



主催

公益財団法人 国際高等研究所  
<「新たな文明」の萌芽、探求を！> プロジェクト事務局  
e-mail:goethe0828@iias.or.jp

公益財団法人  
国際高等研究所

# オンライン 対 面

ご参加希望の方は、Peatixよりお申込みください。手続き完了後、当日の招待メール（ウェビナー（Zoom）の事前登録案内を含む）がPeatixから送られます。なお、開催日時の24時間前に、ご登録いただいたメールアドレス宛に、リマインドメールをお送りします。

## 当日のプログラム（予定）

13:30～14:00	受付
14:00～15:05	各鼎談者からの冒頭発言
15:05～16:05	鼎談
16:15～16:45	鼎談（参加者との意見交換を含む）
16:45～17:00	鼎談者からのまとめ発言



## 開催趣旨

人類の歴史は多様性ゆえの発展と対立の歴史であった。技術革新と経済成長は地球規模での環境破壊、パンデミックや対立、そして大量破壊兵器をもたらした。生命科学が神の領域に迫り、情報やAIが社会を支配しつつあり、いま人類は「第5の波」という大きなうねりの中にいる。

そのような中で、私たちは「生と死」をどのように捉えてきたか。経済成長第一主義の下で、自らの生存基盤に無頓着となり、知らず知らずのうちに「生と死」を視野の外に置いてきてはいないか。だが一方、昨今の気候危機がもたらす巨大自然災害、新型コロナウイルスによるパンデミックでは、否応なく「生と死」の問題に直面せざるを得ない。

私たちは、今こそ華やかな経済的豊かさの幻影から覚め、本来の「生命（いのち）の輝き」に目を向けるべきではないか。真に豊かな未来を切り拓くために、新型コロナウイルスの人類への本当のメッセージは何かを考えたい。「生命（いのち）」のダイナミズムに希望を託し、「生命（いのち）の輝き」とは何かを探りたい。

## プロフィール（敬称略）



宗教  
哲学

松山 大耕

1978年京都市生まれ。2003年東京大学大学院農学生命科学研究科修了。埼玉県新座市・平林寺にて3年半の修行生活を送った後、2007年より退蔵院副住職。日本文化の発信・交流が高く評価され、2009年観光庁 Visit Japan 大使に任命される。2016年『日経ビジネス』誌の「次代を創る100人」に選出され、同年より「日米リーダーシッププログラム」フェローに就任。2018年より米・スタンフォード大客員講師。2019年文化庁長官表彰（文化庁）、重光賞（ボストン日本協会）受賞。現在、京都観光大使、京都市教育委員、(株)ブイキューブ社外取締役、(株)ESA 監査役。



生命  
科学

平野 俊夫

大阪大学名誉教授、公益財団法人大阪国際がん治療財団理事長。1972年阪大医学部卒業、米国 NIH 留学、熊本大学助教授、阪大教授、生命機能研究科長、医学系研究科長・医学部長、第17代阪大総長などを歴任。日本学術会議会員、日本免疫学会会長、総合科学技術会議議長、国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構理事等を歴任。The Sandoz Prize for Immunology、藤原賞、The Crafoord Prize、日本国際賞、Clarivate Citation Laureates 2021 in Physiology or Medicine などを受賞。紫綬褒章、瑞宝大綬章を受章。インターロイキン6 (IL-6) を発見し、作用機序と慢性炎症性疾患との関連性を解明。関節リウマチや重症の新型コロナウイルス感染症治療薬開発の道を開いた。



文化  
人類学

石井 美保

文化人類学者。京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。宗教実践や環境運動をテーマにタンザニア、ガーナ、インドで調査を行う。主な著書に『環世界の人類学』（京都大学学術出版会、2017年）、『めぐりながれるもの人類学』（青土社、2019年）、『たまふりの人類学』（青土社、2022年）、『遠い声をさがして』（岩波書店、2022年）などがある。第14回日本学術振興会賞受賞（2017年）、第10回京都大学たちばな賞受賞（2018年）。現在、京都大学人文科学研究所教授。

## オンライン参加の方は

\* ZOOM システムを利用した「WEB セミナー」として開催いたします。参加者はパソコンなどの端末、ネット環境、ZOOM ソフトなどをご自身で準備いただき、操作してください。

\* 受付時間（13:30～14:00）内に、事前に連絡する URL からアクセスしてください。

- ・お申込者以外の方は視聴できませんので、予めご了承ください。
- ・後日配信や、Q&A、チャットの事後共有を行う予定はございません。
- ・本イベントの録画・録音は禁止します。
- ・プライバシー保護、著作権の観点から、無断で画面をスクリーンショットや写真などで撮影することは禁止します。

## 会場にお越しいただく方は

\* 会場での申込受付は行いません。事前申込なしでのご来場はご遠慮ください。

\* 新型コロナウイルス感染防止に配慮したイベント開催といたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

- ・37.5度以上の発熱者は入場をご遠慮ください。
- ・咳エチケットをお守りください。
- ・マスクの着用を推奨いたします。